

令和8年度シラバス（保健体育）

学番 28 新潟県立村上高等学校

教科(科目)	保健体育（保健）	単位数	1 単位	学年(コース)	2 学年
使用教科書	大修館書店『現代高等保健体育』				
副教材等	大修館書店『図説 現代高等保健』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①未知のものに勇気をもって向き合い、謙虚に、かつ、意欲的に学ぶ生徒の育成を行います。 ②他者への配慮と心のこもった挨拶や振る舞い方を身に付け、思いやりをもって他者に接することにより、真に信頼される生徒を育成します。 ③学校生活の様々な機会を通じて心と体を鍛え、自分の将来の目標に向け、覚悟をもって努力する生徒を育成します。
カリキュラム・ポリシー	①生徒一人ひとりの学力を高めるために、基礎的な学習の繰り返しにより知識の定着を図る指導を行います。 ②確かな学力に基づく問題解決力と判断力を身に付けさせるために、教科横断的な探究学習を行います。 ③専門分野に対する深い理解をもった職員が、質の高い授業を行い、学ぶことの面白さと喜びを伝えながら、生徒の教養を高めます。

2 学習目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
--

3 指導の重点

思春期から中高年期までの健康問題、労働と健康との関係、働く人々の健康が保持増進されるしくみについて理解できるようにする。また、環境・食品と健康との関係、社会全体の健康を高めるために、私たち一人ひとりが環境づくりに積極的に参加する意義やその方法について理解できるようにする。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。	個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言・発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 ・振り返りシート等の記述の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言・発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 ・振り返りシート等の記述の分析 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4月・5月・6月	3単元 生涯を通じる健康 01 ライフステージと健康 02 思春期と健康 03 性意識と性行動の選択 04 妊娠・出産と健康 05 避妊法と人工妊娠中絶 06 結婚生活と健康 07 中高年期と健康	教科書 副教材	ライフステージと健康の関連、思春期の心身の発達と健康、性意識の男女差、妊娠・出産の過程における健康課題などについて理解する。 思春期の心身の特徴や妊娠・出産の健康課題や母子保健サービスの例などについて詳しく調べ、発表する。	6	出席状況 ワークシート (記述の確認) ノート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) 定期考査
7月・8月・9月・10月・11月	08 働くことと健康 09 労働災害と健康 10 健康的な職業生活 4単元 健康を支える環境づくり 01 大気汚染と健康 02 水質汚濁・土壌汚染と健康 03 環境と健康にかかる対策 04 ごみ処理と上下水道整備 05 食品の安全性 06 食品衛生にかかる活動	教科書 副教材	働くことの意義と健康とのかわり、労働災害の要因と防止策、職場が行う健康に関する取り組みについて理解する。 労働災害の種類や要因、職場の健康に関する取り組みを理解し、どのようなことが必要か考え、発表する。	4	
12月・1月・2月・3月	07 保健サービスと健康 08 医療サービスとその活用 09 医療品の制度とその活用 10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加	教科書 副教材	保健行政の役割と保健サービス、医療保険のしくみと医療機関の役割、医薬品の正しい使用法や医薬品の安全性を守る取り組みについて理解する。	4	出席状況 ワークシート (記述の確認) ノート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) 定期考査
			国際機関・民間機関の保健活動、行政機関による社会的対策、健康の保持増進のための環境づくりについて理解し、環境づくりへどう主体的に参加していくか考え、発表する。	4	

計 32 時間 (55 分授業)

7 課題・提出物等

ワークシート、課題プリント、ノート等

8 担当者からの一言

生涯を通じての健康問題について理解を深め、自らの健康を保持増進して資質を高めてもらいたいです。また、自分の地域や地球規模の問題となっている環境問題について、主体的に取り組み、健康的な社会環境づくりに貢献できる資質を高めていきましょう。